

令和7年度 まちづくりの経営指針

いわき市

総合政策部 政策企画課

令和7年度に取り組む4つの柱とそれぞれの分野

1 次世代を育てる 58 事業



教 育 (19事業)
子 育 て (25事業)
担 手 (14事業)

2 命・暮らしを守る 52 事業



防 災 (18事業)
医 療 / 健 康 (15事業)
暮 ら し (19事業)

202事業

3 まちの魅力を高める 27 事業



ま ち (18事業)
環 境 / G X (7事業)
地 域 交 通 (2事業)

4 豊かさを創る 55 事業



産 業 (17事業)
農 林 水 産 (13事業)
観 光 ・ 文 化 ・ ス ポ ー ツ
(25事業)

構造改革・DX推進事業 10 事業

1 次世代を育てる



教育
子育て
担い手

教育

～学力日本一を目指して～

POINT
01

学力向上支援

- ダッシュボードの活用や学力向上アドバイザーの**全校訪問**
- 中学生に対する**放課後自主学習**の機会の提供

POINT
02

不登校・特別支援への対策強化

- 不登校児童・生徒の**居場所の確保**、スクールカウンセラーによる**心のケア**
- 特別支援教育ソフト**の活用、支援員の拡充によるサポート体制の充実・強化

POINT
03

教育環境の充実

- 中学校給食費の完全無償化**による、更なる保護者の負担軽減
- 全ての小中学校**トイレの洋式化**、**特別教室へのエアコン設置**の推進

POINT
04

地域連携による教育の推進

- 四倉地区の「学び」と「ふれあい」の場となる**交流・防災拠点施設の整備**
- 学校と地域の連携による学校を核とした**地域づくり**の推進



数値目標

指標	R4	現状	5年後
----	----	----	-----

本市の学力

(国語) 全国平均
(算数・数学)

(国語) 全国平均
(算数・数学)

まずは3年以内に
全国平均以上

自己有用感

【参考】数学：R5 ▲6.0
全国平均以下

→ R6 ▲3.5
全国平均以下

指標	R4	現状	5年後
----	----	----	-----

不登校児童生徒数

(1,000人あたりの割合)

小学生8.1人

中学生43.0人

小学生9.7人

中学生54.2人

現状より減少



子育て

～こどもまんなか社会の実現～

POINT

01

こどもの権利への理解促進

- こどもの権利普及啓発の強化、**意見表明機会の創出**

POINT

02

安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり

- ハイリスク分娩等の遠方での出産が必要な際の移動費用等を補助
- 乳幼児健康診査に新たに「**1か月児健診**」を追加
- こども誰でも通園制度**の導入に向けた検証を開始

POINT

03

就労と子育ての両立支援

- 保育士確保に向けた**復職支援研修会**の開催、中学生・高校生向けの**職場体験機会**の拡充
- 放課後児童クラブ**の充実

POINT

04

困難を抱えるこども・家庭支援

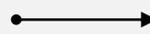
- ひとり親家庭等に対する**高等学校入学時**等の市独自の経済的支援
- DV被害者、ヤングケアラー**等への支援



数値目標

指標

R4



現状



5年後

こどもまんなか社会
に向かっていると感
じるこどもの割合

—

約40%

70%以上

指標

R4



現状



5年後

待機児童数

1人

1人

ゼロ

※こどもまんなかアンケート調査
(市内の全中学2年生を対象に実施)

担い手

～将来のまちを担う若者等の育成～

POINT

01

若者流出抑制、人財還流、UIJターンの推進

- 移住イベント等の開催や移住支援金の交付
- 市内事業所等に就職する学生の奨学金の返還支援

POINT

02

関係人口の創出

- フラシテイいわきのプロモーションやいわきファンクラブとの連携
- ふるさと納税返礼品の充実によるいわきファンの創出と繋がり強化

POINT

03

担い手の育成

- CIFALジャパン国際研修センターと連携した人づくりの推進
- いわきアカデミアや生徒会サミット等を活用したキャリア教育の充実

数値目標

指標	R4	現状	5年後
若い世代（15-39歳）の人口割合	22%	22%	20%維持
IWAKIふるさと誘致センターを介した移住者数	41人/年	80人/年	140人/年



指標	R4	現状	5年後
いわき市に就職したい（愛着・貢献したいと感じている）若者の割合	—	約40%	50%以上 (10%増加)

※いわきアカデミア推進協議会におけるアンケート調査(高校・大学生等約1,000人が回答)

2 命・暮らしを守る



防災

医療/健康

暮らし



防災

～逃げ遅れゼロ、災害死ゼロへ～

POINT

01

自助・共助の力向上

- 防災士の養成、**防災士と自主防災組織との連携**等の強化
- 東北大学災害科学国際研究所との連携**を強化

POINT

02

公助の力向上

- AIによる**河川水位予測システム**の導入
- 未作成の22河川の**河川洪水ハザードマップ**の整備
- 避難所の生活環境向上のための**非常用備蓄品**の充実

POINT

03

災害につよいまちづくり

- 河川改良などの**流域治水プロジェクト**の推進
- 道路の冠水対策、法面の崩落対策**の実施

POINT

04

消防力の強化

- 安定した救急サービスの提供に向けた**救急救命士**の充実
- デジタルツール**を活用した消防団活動の支援



数値目標

指標	R4	現状	5年後
登録防災士数	199人	344人	600人

指標	R4	現状	5年後
2名以上防災士が所属している自主防災組織率	16% (64組織)	17% (70組織)	100% (403組織)



医療 / 健康

～医療の確保と将来人材の育成～

POINT

01

医療人材の育成と医師不足解消

- 医学部進学者への**修学資金貸与制度**を利用しやすい制度に見直し
- 新規開設・承継する診療所**に対する**支援制度**の対象を拡大
- 小学生から研修医**まで切れ目なく医療を学ぶ取組みを展開

POINT

02

救急医療の強化

- 休日および夜間における**救急医療の確保**
- 救急搬送を受け入れる**病院の運営体制強化**を支援

POINT

03

健康課題の解消

- 減塩の取組みとして「**ひとしお**」ブランドを展開
- 中学生への**脂質・血糖検査**の実施など、若年から生活習慣病を予防



数値目標



医師確保数

21人増

100人増

救急搬送時間

R6実績：3分43秒短縮 (R4比)

さらに改善
(5年後)



健康寿命
(お達者度)
※県内13市中

ワースト1位

(1月中公表予定)

ワースト1位
脱却

暮らし

～持続可能な地域づくりに向けて～

POINT

01

暮らしを守る環境整備

- 高齢者の**熱中症対策**の充実を検討
- 自治会への**防犯カメラ**の設置補助、空き家対策の実施

POINT

02

地域活動の支援

- ITツールを活用した自治会等の活動支援
- 自治会の地域づくり活動に対する**補助の新設**
- 市民自らが自発的に行う**市民公益活動（ボランティア活動等）**の支援

POINT

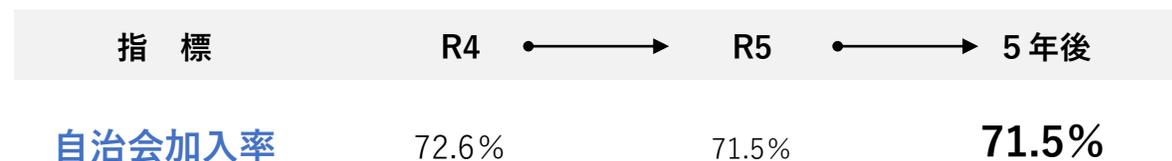
03

地域共生社会の実現

- 子ども・高齢者・障がい者などの**分野別では支援が困難な事例への対応**に向けた支援体制を整備
- 人と動物が共生する社会の実現に向けた（仮称）動物愛護センター**の整備



数値目標



3 まちの魅力を高める



まち

環境/GX

地域交通

まち

～未来に誇れる都市への挑戦～

POINT

01

ネットワーク型コンパクトシティの実現

- いわき駅周辺の都市機能集積
- 常磐地区・四倉地区の市街地再生整備の推進

POINT

02

快適な都市空間の提供

- いわき駅北口地区の新たな土地利用方針の検討
- 公募設置管理制度（Park-PFI）を活用した公園の高機能化の検討

POINT

03

持続可能な中山間地域づくり

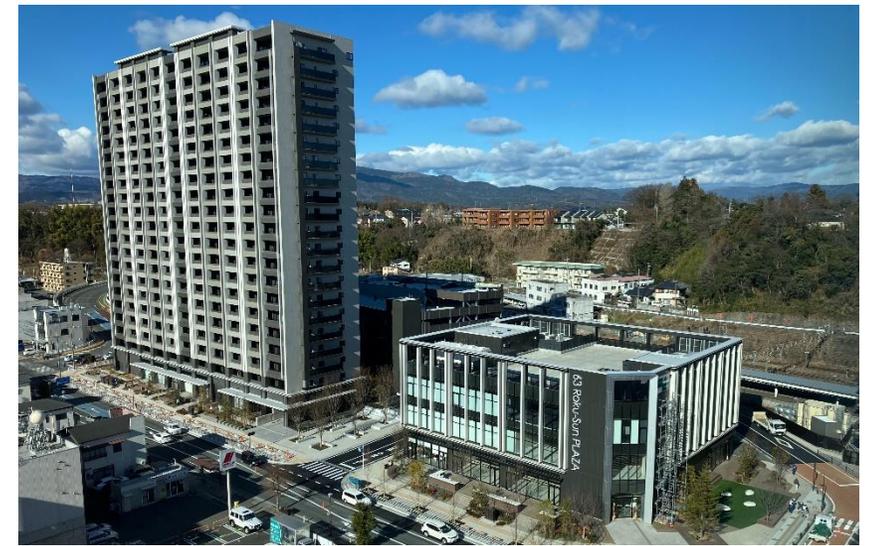
- 地域おこし協力隊や中山間地域集落支援員を活用した地域活性化
- 生活サービス機能を集積した小さな拠点の形成・運営支援

POINT

04

スマートシティ化の実現

- いわきニュータウンにおけるスマートタウンモデル事業の推進
- 行政MaaS車両によるお出かけ市役所の実施



数値目標

指標

R4

現状

5年後

まちなか居住
区域内人口密度

約44人/ha

約44人/ha

約46人/ha

指標

R4

現状

5年後

小さな拠点形成・
運営支援数

0

1

3



環境 / GX

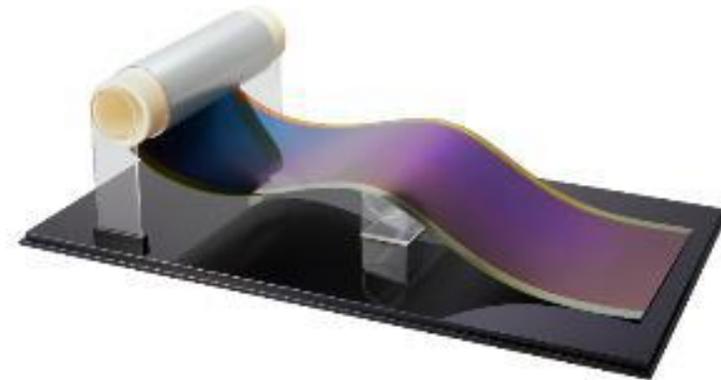
～人と自然が共生するまち 循環都市いわき～

POINT

01

脱炭素化の推進

- 行政、教育機関、市民団体、企業等の連携による**環境教育プログラム**実施
- 脱炭素経営のスタートアップや自家消費型太陽光発電導入等の**事業者支援**
- 家庭用の**太陽光発電**や**蓄電池**、**次世代自動車**等の導入支援



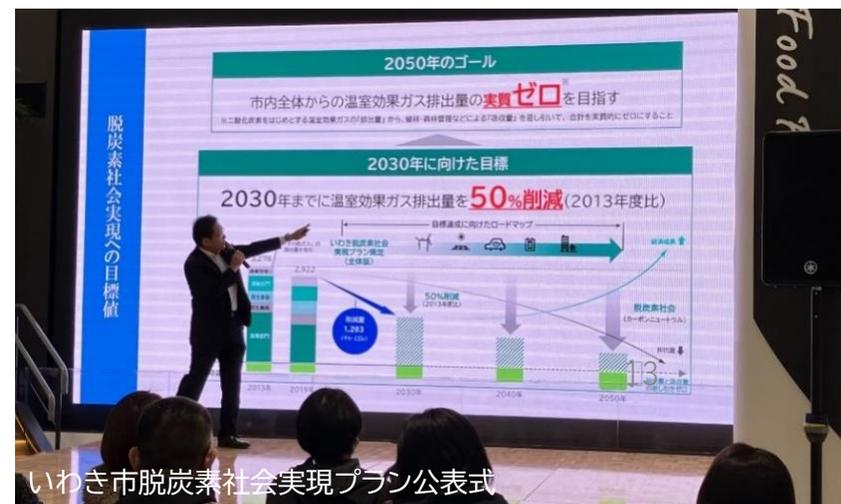
軽量でフレキシブルな次世代型の太陽電池
(ペロブスカイト型太陽電池)

POINT

02

循環型社会の実現

- フードドライブの支援やフードシェアリングサービス等を活用した**食品ロス**の削減
- サステナブルファッションの推進などの**資源循環**の推進・啓発



数値目標

指標	2013年	現状	2030年
温室効果ガス削減割合 (2013年比)	327.8万t-CO ₂	268.7万t-CO ₂ (2021年)	50%削減

指標	R4	現状	R12年度
1人1日あたりのごみ排出量	971g/人・日	941g/人・日	900g/人・日



地域交通

～誰もが利用しやすい地域交通の実現～

POINT

01

公共交通の活性化

- 主要な都市拠点間を結ぶ「**基幹バス路線**」の維持・強化
- 鉄道交通（**常磐線・磐越東線**）の活性化支援
- 交通事業者の従業員の**資格取得等支援**による運転手の確保



交通不便地域の移動手段確保

POINT

02

- 住民ボランティア輸送の支援【三和、田人地区】
- NPO法人と連携した**公共ライドシェア**の継続【川前地区】
- 定額タクシーの実証**【四倉、久之浜・大久、遠野地区】
- 産学官民連携による**移動ニーズ等の把握**【小名浜、常磐地区】
- 産学官民連携による**移動手段の検討**【小川地区】



数値目標

指標

R4

現状

5年後

路線バス利用者数

309万人/年

313万人/年

313万人/年

指標

R4

現状

5年後

公共交通空白地域

—

ゼロ

4 豊かさを創る



産業

農林水産

観光・文化・スポーツ



産業

～産業人財の確保・育成、稼ぐ力の向上～

POINT

01

産業人財の確保

- スタートアップの支援や本社機能の移転促進による魅力的な働く場の創出
- 女性や障がい者、外国人等が活躍できる雇用環境や職場環境の整備

POINT

02

産業人財の育成

- デジタル技術の活用や脱炭素に挑戦できる将来人財・即戦力人財、次世代を担う経営者の育成など産業界が主体となった多様な人づくりを支援

POINT

03

産業の新陳代謝

- 企業の成長フェーズや事業の熟度に応じたチャレンジを支援
- 事業承継に向けたマッチング支援など、再生期の市内企業のリスタートを促進

POINT

04

稼ぐ力の向上

- 次世代エネルギーなどの成長産業への市内企業の関わりを促進
- 企業の立地環境の充実に向けた未利用地の有効活用等の調査・検討を実施
- 福島国際研究教育機構（F-REI）との連携促進、研究事業への参画企業拡大

【参考】

- 企業誘致等の実績（R3⇒R6）
- 本社機能移転：6件（67人）
- 工場等設置届出数：26件（322人）

※計画ベース



F-REI×いわき市 連携協定締結



数値目標

指標	R4	現状	5年後
短大・高専・大学・大学院卒の就業者割合		33.42%	40% (令和12年までに)
経営革新に挑戦する企業		28社/年	80社/年



農 林 水 産

～稼げる農林水産業～

POINT

01

次世代の担い手確保・育成

- 新規就農者の経営や経営発展のための**機械・施設**（田植え機・ねぎ集出荷施設）等導入の支援
- 林業新規就業者・**林業アカデミーふくしま受講者**への支援
- 子どもや学生等の若い世代を対象とした**体験実習**や**漁業体験**などの実施

POINT

02

稼げる経営基盤の確立

- 市内産農産物の**生産力促進**や**販路の拡大**、**スマート農業**（防除用ドローン導入等）・**6次産業化**などの推進による生産性と収益性の高い経営の確立

POINT

03

ブランド化の推進と魅力発信

- 「常磐もの」をはじめとする農林水産物の**ブランド化**の推進
- 認知度向上による流通拡大のための**マーケティングの強化**
- 福島大学食農学類との連携**による本市農業の地域課題の検討

数値目標

指 標	R4	現 状	5年後
スマート農業導入支援 補助金交付件数（延べ数）	14件	36件	70件
高性能林業機械保有数 （延べ数）	45台	49台	60台
「常磐もの」認知度	55%	78%	80%





観光・文化・スポーツ

～魅力的なコンテンツづくり～

POINT

01

観光・ツーリズムの強化

- NCR指定 (R7年度中) に向けたサイクルツーリズムの推進
- 海外への認知拡大に向けたプロモーションによるインバウンド誘客の促進
- ふくしまDC (R8年度) と連携したイベントの開催

POINT

02

地域文化の醸成

- いわきの歴史・文化・伝統を生かした人材の育成 (歴史講座やまち歩き
の開催など)
- デジタルミュージアムの学校教材や生涯学習での活用、情報発信

POINT

03

スポーツの魅力発信

- いわきFCと連携したスポーツの魅力発信
- 市民スポーツ教室の開催等を通じた生涯スポーツの振興
- 競技スポーツで全国・東北大会の出場に要する費用の助成

数値目標

指標	R4	現状	5年後
観光入込客数	546万人	687万人	850万人
文化施設の年間入館者数	50万人	58万5千人	100万人
トップスポーツイベント観客数	76,790人	87,843人	10万人

